

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年 5月 27日 更新

事務事業名		県・菊池管内・品評会出頭祝金事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	産業振興部	課長名	右田 純司
	施策	26	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	林田 健太郎
	施策の柱	69	生産基盤の確保と経営力の強化			所属班	農政班	(内線)	5224
予算科目	会計一般	款 6	項 1	目 11	事業連番 10284	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	家畜の体系資質の改良を促進するため、畜産農家が品評会に出頭したときに支払う。 ●平成24年度から、出品頭数1頭につき5,000円、飼料作物出品者は、3,000円
【業務の流れ】	①品評会日程及び出品者の把握 ②資金前途にて現金で祝い金を交付(出品頭数の変更される場合があるため、当日交付が望ましい) ③領収書(連名など)にて精算 ※状況に応じて口座振込みにて交付
【主な予算費目】	報償費
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)		3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
【基準に達しなかった理由】新型コロナウイルスの影響により品評会等が実施されなかったため。		品評会出頭祝金を交付する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→イ: 支払件数(延べ)		全国大会未開催に伴う共進会出頭賞賜金の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等畜産農家。		②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 件
		→イ: 畜産農家数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 良質牛を出品してもらう。乳牛・肉牛の体系資質の改良、生産効率の高い牛群を増やしてもらうことを目的とする。		③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 頭
		→イ: 出品頭数
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
多くの良質牛を出品してもらうために成果指標を「出品頭数」とした。目標値については、平成24年度75頭の実績に基づき60頭とした。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	30年度実績(決算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	4年度予定	5年度見込	6年度見込	
① 活動指標	ア 件		29	16	40	0	40	40	40	40	
	イ										
	ア 件		103	91	105	90	105	105	105	105	
② 対象指標	イ										
	ア 頭		63	27	60	0	60	60	60	60	
③ 成果指標	イ										
	ア 頭										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	406	313	421	0	383	383	383	383
		(A) 事業費計	千円	406	313	421	0	383	383	383	383
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	2	0	1	0	0	0	0
延べ業務時間	時間	90	60	0	10	0	0	0	0		
(B) 人件費計	千円	354	237	0	39	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	760	550	421	39	383	383	383	383		

事務事業名	県・菊池管内・品評会出頭祝金事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 今後も品評会・共進会の開催が予定されているため、達成見込み有。
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 当事業を畜産農家に広く周知し、品評会・共進会への積極的な出品を促す。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 平成24年度から、出頭全頭に祝い金を送っており、農家の方にも広く知られつつある。例年どおり共進会が開催されれば、成果達成が見込める。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 11499畜産振興事業と関連するため、統合が可能。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 廃止した場合、出頭する畜産農家が減少し、乳牛の改良などを行う者も減る。結果、本市の基幹産業である畜産の衰退にもつながる。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 原則、現金での手渡しで祝い金を渡しているため、委託等では対応できない。また、余計に人件費がかかる。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 出品した畜産農家全てが対象である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 畜産振興のための事業であり、行政の施策として適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

農家の方にも広く知られつつある。例年どおり共進会が開催されれば、成果達成が見込める。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					